

国土交通省 北海道開発局旭川開発建設部 治水課 御中

1月25日に、天塩川流域環境に関心の深い14団体より、北海道開発局に対し、「天塩川河川整備計画原案についての開発局との会談の申し入れ」を送付いたしましたところ、さっそく1月29日に電話でご回答いただきました。迅速な対応に感謝いたします。

いただきましたご回答について私どもで論議し、別紙の通り、「天塩川河川整備計画原案についての開発局への会談再申し入れ」を送付いたします。つきましては、会談が実現できるようお願いするとともに、この件について早急にご回答いただくよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、ご回答は、(社)北海道自然保護協会 会長 佐藤 謙

〒060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目、加森ビル5F、Tel/FAX: 011-251-5465

E-mail: info@nchokkaido.or.jp まで文書でお願い致します。

また、問合せについては、北海道自然保護協会副会長 佐々木克之、Tel/FAX: 011-532-5851、E-mail: katusa@dia-net.ne.jp までお願い致します。

申し入れ書については、メール以外に、本日1月31日に文書を郵送するとともに、佐々木克之から旭川開発建設部に電話をさし上げます。

記

1. 鏡文

2. 天塩川河川整備計画原案についての開発局への会談再申し入れ書 1頁

以上

2007年1月31日

サンルダム建設を考える集い

下川自然を考える会

名寄サンルダムを考える会

北海道の森と川を語る会

大雪と石狩の自然を守る会

旭川・森と川ネット21

環境ネットワーク旭川・地球村

遊楽部川の自然を守る会

北海道自然文化ネットワーク

サンル川を守る会

北海道自然保護連合

市民森づくりクラブ

社団法人 北海道スポーツフィッシング協会

社団法人 北海道自然保護協会

天塩川河川整備計画原案についての開発局への会談再申し入れ

私たちは、天塩川河川整備計画原案について明らかにされていない点多々あると考えて、1月25日、開発局に文書によって会談を申し入れましたところ、1月29日、井田治水課長から電話でお返事いただきました。その内容は、1) 特定団体とは会わない、2) 寄せられた意見に対しては、説明責任を果たす必要があるのもそのうちまとめて考えを述べる、の2点でした。1点目について、新聞で、名寄市・名寄市内町内会・ダム建設推進派の住民団体の三者が旭川開発建設部次長と会ってダムの早期着工を要望したと報道された点について質したところ、自治体とはいろんなことで連携しているので、会ったという回答でした。しかし、今回の問題は自治体との連携の問題ではなく、明らかにダム建設要望の問題です。賛成派とは会って、反対もしくは疑問派とは会わないということは、住民に対する差別であり、民主主義と相容れないと考えます。私たちは、具体的問題として、「1998年のアンケートではダムを必要としないという回答が多かったのに、なぜダム推進となったのか」とか、「戦後最大の水害に対応するという立場なのに、なぜ真敷別の目標流量だけ高く設定しているのか」という地域住民からの疑問に対する回答をお願いしました。これらの疑問に答えないまま整備計画案を作成することはできないと考えています。出された疑問に対して説明責任を果たすとおっしゃっていますが、説明責任を果たすということは、勝手に説明すればいいというものではありません。相手に理解してもらえるような合理的な説明を行なうことが含まれているはずで、今までの経過を見ると、開発局は一方向的に説明をされていますが、納得できない回答が多々ありました。やはり、会談によってやりとりしなければ、説明責任は果たせないと考えます。

そこで、今一度私たちとの会談を申し入れます。もし、回答が1月29日と同じであれば、私たちの見解について記者会見を開いて述べさせていただきます。また、国土交通省などの上位の機関などへも要請していくつもりです。早急なご回答をお願い致します。

1月31日

サンルダム建設を考える集い
下川自然を考える会
名寄サンルダムを考える会
北海道の森と川を語る会
大雪と石狩の自然を守る会
旭川・森と川ネット21
環境ネットワーク旭川・地球村
遊楽部川の自然を守る会

北海道自然文化ネットワーク
サンル川を守る会
北海道自然保護連合
市民森づくりクラブ
社団法人 北海道スポーツフィッシング協会
社団法人 北海道自然保護協会